

液化石油ガス設備工事届（続紙）群馬県

バルク供給（バルク容器又はバルク貯槽）表

1 届出の内容

液化石油ガス設備工事	新 設 ・ 変 更
------------	-----------

2 液化石油ガス販売事業者

登録番号	事業所名称・販売所名称

3 工事従事者（設備工事に従事した者全員を記入すること）

氏 名	免状交付地	設備士免状N O	直近の講習受講年月日
	都道府県		年 月 日

4 供給設備

項 目	対 応 事 項
(1) 緊急連絡先の表示等	表示内容（ ）
(2) 基礎	平坦なコンクリート盤等 基礎の高さ <u> cm</u> $\geq 5\text{cm}$
(3) 車両接触防止措置	（ガードレール・フェンス・その他 ）
(4) 火気までの距離	・ 火気までの距離（ m） 2 m以内の場合の措置（ ）
(5) バルク貯槽 1t 未満 保安距離等	・ 第一種保安物件まで <u> m</u> $\geq 1.50\text{m}$ ・ 第二種保安物件まで <u> m</u> $\geq 1.00\text{m}$ ※保安距離が確保できない場合。 → ☐ 加熱試験に合格する構造壁 → ☐ 貯槽を埋設する。（地盤面から <u> cm</u> ） ・ アースの有無（ ）

項 目		対応事項
(5) 保安距離等	バルク容器 1t 以上 3t 未満	・第一種保安物件まで $\underline{\hspace{1cm}}m \geq 16.97m$ ・第二種保安物件まで $\underline{\hspace{1cm}}m \geq 11.31m$ ※保安距離が確保できない場合 → □障壁（厚さ $\hspace{1cm}cm$、高さ $\hspace{1cm}m$ 構造 $\hspace{1cm}$） ・火気取扱施設までの距離 $\underline{\hspace{1cm}}m$ ・屋根又は遮へい板（薄鉄板・スレート・ $\hspace{1cm}$） ・消火設備（ $\hspace{1cm}$）
(6) 強制気化装置		イ $\hspace{1cm}$ あり $\hspace{1cm}$ ロ $\hspace{1cm}$ なし ＊イの場合型式認定合格証を添付すること

5 ガス漏れ検知器・警報器設置状況

(1) バルク容器・バルク貯槽のプロテクター内のガス検知器（ 有 ・ 無 ）

(2) 消費側ガス漏れ警報器

設置年月日 $\underline{\hspace{2cm}}$ 設置個数 $\underline{\hspace{2cm}}$

6 施工後の表示（掲示したものと同様に記入すること）

工事事業者の氏名又は名称	連 絡 先	施工年月日又は工事番号

7 配管の状況

(1) 配管がすべて露出	(2)の場合埋設管腐食防止措置
(2) すべて埋設又は一部埋設	

8 添付書類

- 案内図
- 供給設備付近の配置図（施設等の内における貯蔵場所を示す見取図）
火気距離、保安距離、火気施設距離明記
- 配管図（アイソメ図）
- 気密試験結果
- 写真（容器又は貯槽の周辺、埋設配管、ガス漏れ警報装置等）
- バルク貯槽の場合は特定設備検査合格証又は特定設備基準適合証の写し